

# 香川県の乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化に反対し、撤回を求める請願署名

年 月 日

香川県知事 真鍋武紀 殿

## <請願主旨>

香川県の真鍋武紀知事は、「本県財政は未曾有の危機的状況に直面している」として、「新たな財政再建方策（たたき台）」を9月7日県議会・行財政改革推進特別委員会に示しました。

2008年度から10年度までの3年間に歳出を691億円カットするとともに、県の未利用地の売却で602億円の歳入を図ろうというものです。

「すべての事業で聖域を設けない」として、歳出カットのなかには、乳幼児と母子・重度心身障害者の医療費助成制度が含まれ、3年間で9億円の削減が見込まれています。

乳幼児医療費は、現物給付し対象を5歳からを就学前までに引き上げますが、1ヶ月あたり通院500円（1レセ）、入院1,000円（1レセ）の自己負担を導入します。母子家庭の場合も1ヶ月あたり通院500円（1レセ）、入院1,000円（1レセ）の自己負担を導入します。重度心身障害者の場合は、1割自己負担（上限2,500円）とするとともに、今後あらたに65歳になる人を補助の対象から除外します。なお、各制度とも市町税非課税世帯はこれまで通り無料です。

わたしたちは、乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化に反対します。苦しい人に暖かい手を差し伸べるのが政治ではありませんか。こともあろうに、特に厳しい状況にある人に負担を求めるとは非情としかいいようがありません。また、65歳以上の重度障害者を助成対象からはずすという高齢者差別はもつてのほかです。

乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化の撤回を求めます。

## <請願事項>

○乳幼児・母子・重度心身障害者の医療費有料化を止めてください。

氏 名	住 所

取扱団体 香川県社会保障推進協議会 〒760-0073 高松市栗林町 1-6-4